

シーカヤック応用課程課題

ツーリング			
ツーリング計画1	ツアーの計画書を提出	参加者各人が、普段活動している場所での、ツーリング計画書。 ツーリングに参加するメンバー等の情報は、申し込み後、指定する	提出された計画書を考察する。 無理のない、しっかりとした計画が立てられているか。
ツーリング計画2 (予備)	当日会場で与えられた情報を元に、計画を立てる	地図、天気図など、当日与えられた情報での、ツーリング計画	提出された計画書を考察する。 現場で、海の状況を把握できているか。
ツーリング計画3	模擬ツアー	ツアー中に、位置の確認、コースの確認、状況の予想等を行う。 帰着後、コースの考察を行う。	現場での状況判断が的確か。 現在位置を常に把握しているか。
シーカヤック関連の道具	ラダー、スケッグ ナビゲーション関連 通信手段他	いろいろな道具を使用してみる(研修)	

レスキュー			
ロール	波のある海面でのロール。 または、疲れているときのロール	完沈状態から、パドリング可能な状態へ、艇を復元する。1回実施	体に無理なく、効果的なロールができているか。
Tレスキュー	波のある海面でのTレスキュー	脱艇者のカヤックのバウを持ち上げ排水し、脱艇者を再乗艇させる。	状況判断が的確になされているか。 作業は迅速にできたか。 レスキューをする上での、しっかりとポートコントロールはできていたか。
その他のレスキュー	パドルフロートを使った再乗艇、タンデム艇の再乗艇、牽	状況によっていろいろな方法を考える (研修)	
ポートコントロール	Tレスキュー、その他のレスキューの試技の中で判定		波や風の中で、固定目標に対し、正確にカヤックをコントロールしているか。

ビーチ			
波の打ち寄せているビーチへの、上陸及び出艇に関し	上陸及び出艇のスキル	50cmから1m程度の波が打ち寄せているビーチで、上陸、出艇を数回実施。複数の場所を実施	波を読んで、安全かつ的確に上陸及び出艇ができているか。
	上陸、出艇時の誘導	50cmから1m程度の波が打ち寄せているビーチで、数人の参加者を誘導して、安全に上陸、出艇させる。	ビーチでの危険を理解し、的確に誘導ができているか
ポートコントロール	上陸、出艇時の試技の中で判定		波に対して、安全に効率よく、カヤックをコントロールしているか。 サイドサーフィン状態で、安定しているか。

潮流			
流れの横断	潮流のある海峡の横断(スキル)	3ノット程度の潮流の横断。場所を変え、複数回実施	流れを読んで、効率よく横断しているか。検定会場の流れの状況を、把握しているか。横断している場所に応じたコースを取っているか。
	潮流のある海峡の横断時の誘導	3ノット程度の潮流の横断。数人の参加者を誘導して、安全に流れを横切ることができるか。	危険及び参加者の動きを理解し、的確な誘導ができるか。
ボートコントロール	潮流のある海峡の横断の試技の中で判定		流れに対して、安全に効率よく、カヤックをコントロールしているか。スタンディングウエーブを利用できるか。

模擬講習			
模擬講習1	シーカヤックのフィールドにおける一般知識を、わかりやすく講習できるか		その内容を、初めて聞く参加者に対して、必要な情報を、わかりやすく講習できているか
模擬講習2	フィールドにおいての説明		ツーリング中に、これから必要となる情報を、わかりやすく説明できているか。
模擬講習3	初心者スクール		初心者スクールを受験生数人で分担して行う。

教養			
講義1	プランニングとリスクコントロール	シーカヤックの構造、船形、性格。カヤックの動き。海に潜むリスク。ツアーリーダーとして必要なこと。ツアープランニングとナビゲーション他	ペーパーテスト
講義2	海洋フィールドにおける一般知識	海の特徴、気象海象。海上交通法規。海図、潮汐表、等情報収集。	ペーパーテスト

#### 使用艇及び装備について

- ・カヤックは、リジッドタイプのシーカヤックを使用。バウ、スターンとも水密の隔壁があるもの。デッキラインのついているものが望ましい。
  - ・ヘルメット、ビルジポンプ、パドルフロート、コンパス、トウラインがあれば、持ってきてください。無いものは、事前にご連絡下さい。
- ビーチ、潮流は、会場によりどちらかを開催。